



家庭教育学級合同開級式

生涯学習推進課では、家庭教育支援の中核的な事業として、「家庭教育学級」の講座を行っています。

5月29日に行われた小学校家庭教育学級合同開級式には、各校の学級生の代表と一般の方が参加しました。この日は、鈴木三津代生涯学習部長及び鈴木正則課長の主催者挨拶の後、相磯克典松戸市校長会長、奈賀綾子松戸市PTA連絡協議会会長の来賓祝辞がありました。その後、政治・教育問題ジャーナリスト 清水克彦氏による記念講演「親が伸びれば子どもも伸びる」を行いました。清水克彦氏は、

○親は「家庭」の経営者（プロデューサー）

「家庭」を活気あふれる空間に演出すれば、家族全員いきいきする

○学校や地域の世話役は友人と「気づく」を得るチャンス

積極的に関わったほうが楽しく、子どもにも好影響を与える

○地域の行事には親子で関わろう

社会的有用感と自己肯定感、郷土愛と家族愛が芽生える
などわかり易い言葉で熱く250名を超す参加者に語りかけました。



鈴木生涯学習部長



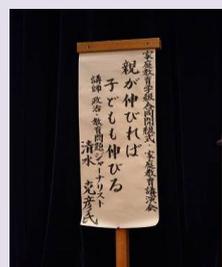
鈴木課長



相磯校長会長



奈賀連P会長



講演を聴いて今後に生かせる事はありますか<参加者の感想>

- ・親も色々な事を学ぶと言うことが大切なんだなと思いました。家庭教育学級を通じて勉強していきたいです。
- ・親も夢や目標を持って、子どもに努力している姿をみせたいと思いました。
- ・子どもに対して求めるのではなく、自分が関わり、頑張る姿を見せていこうと思わせてもらった。
- ・子どもには期待ばかりで、母として努力している姿を見せていなかった。私自身変わろうと思う。
- ・親が夢を持つ事により子どものあこがれる存在になり、共に伸びることができるのかな？と思いました。
- ・話の中に私が育児で実践している事が多く出てきたので間違っていなかったと自信が持てた。また、足りない所もわかりこれからは色々トライしてみようと思う。



清水克彦氏

